

機械器具 47 注射針及び穿刺針
一般医療機器 再使用可能な先丸針 37463000

SP パンクチャー

【禁忌・禁止】

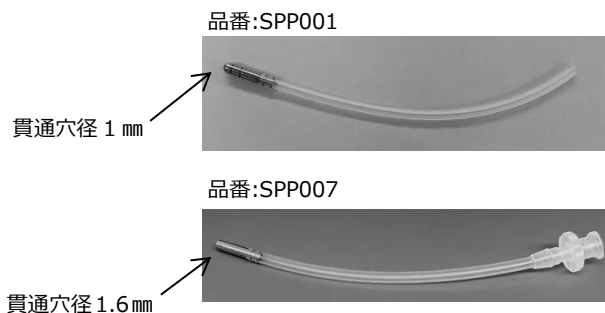
「使用方法」

- ・本品を化学薬品に曝すことは避けること。[腐食による損傷の原因となる]

【形状・構造及び原理等】

** 1. 形状・構造

本品の構成品の形状、構造は以下のとおりである。



** 2. 材質：チタン、シリコン、樹脂

3. 原理

本体の中空にスタイルットが挿入され、体内の探査に用いられる。

【使用目的又は効果】

本品は、本体の中空にスタイルットを挿入し体内の探査に用いる。

【使用方法等】

1. 使用前

- 1) 本品は未滅菌製品であるので、使用する前に適切な方法で洗浄し、滅菌を行ってから使用する。
- 2) 各医療機関により検証され確認された滅菌条件により滅菌を行うこと。推奨滅菌方法：高圧蒸気滅菌

2. 使用方法

- 1) 本品に病院保有のスタイルットを挿入し、体内に埋入し探査を行う。
- 2) 体内に本品を術中留置する場合、シリコンチューブを適度な長さに切断して使用する。

3. 使用後

付着した血液等を除去するため、速やかに洗浄を実施する。血液等が付着したまま乾燥させてしまうと、除去することが困難となる場合がある。

** 「使用方法等に関連する使用上の注意」

- ・本品を体内に埋入する際、繊細な組織、重要な組織を損傷しないように慎重に行うこと。
- ・品番:SPP001 の先端には 1 mm の貫通穴が開いているため、1.1 mm ～1.5 mm 径のスタイルットを使用し、先端からスタイルットが飛び出さないことを確認すること。

- ・品番:SPP007 の先端には 1.6 mm の貫通穴が開いているため、1.7 mm ～1.9 mm 径のスタイルットを使用し、先端からスタイルットが飛び出さないことを確認すること。

【使用上の注意】

1. 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
本品に使用されている材質に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。[アレルギーを起こす恐れがある]
2. 重要な基本的注意
 - 1) 使用後に隙間部分、中空部分等の構造を有する部分に血塊等が残らないよう速やかに洗浄後滅菌すること。
 - * 2) 本品がハイスグ手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
 - * 3) 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。
3. 不具合・有害事象
本品の使用により次のような不具合及び有害事象が発現する可能性がある。
 - 1) 重大な有害事象
 - ・手術時間の延長
 - ・手術手技の変更
 - ・再手術
 - ・組織、神経、血管等の損傷
 - ・周囲の神経障害
 - 2) その他の不具合
 - ・劣化による製品の破損
 - 3) その他の有害事象
 - ・感染症

【保管方法及び有効期間等】

- 1) 過度の衝撃を加えないよう注意して取り扱うこと。
- 2) 他の器具と接触しないよう保管すること。
- 3) 高温多湿、直射日光を避け常温常湿にて保管すること。
- 4) 血液、体液及び薬品等が付着したまま保管しないこと。

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄及び滅菌方法

本品使用後は、速やかに洗浄等により汚染除去を行い血塊等の異物が付着していないこと確認したのち、【使用方法等】欄に示す適切な方法で滅菌を行い保管すること。（使用後の長時間放置等によって血塊や異物を除去しきれない恐れがある）

- 1) 洗浄液は、洗浄方法に適したものを選択し、器具に付着した血液及び組織片等を除去する。
- 2) 超音波洗浄装置を使用して洗浄を行う場合は、他のものと接触しないように設置してから行うこと。
- 3) 洗浄後は腐食防止のため、速やかに乾燥すること。
- 4) 滅菌済の状態で保管する場合、各医療機関により検証され確認された滅菌条件及び保管条件により有効保管期間の管理をし、再汚染を防ぐこと。

5) 強アルカリ、強酸性の洗浄剤や消毒剤は器具を劣化させる恐れがあるので使用しないこと。

** 6) 「プリオン病感染予防ガイドライン（2020 年版）」で推奨されている洗浄、滅菌方法は以下のとおり。
適切な洗浄剤による十分な洗浄後、134℃で 18 分の真空脱気プレバキューム式高圧蒸気滅菌を行う。

2. 点検

使用前に器具が正常に作動することを点検すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〔製造販売業者〕

プロスパー株式会社

TEL 0257-24-5277